

人柄・スキルチェックができる 採用の失敗を防ぐ面接選考シート

ミスマッチを防ぐための面接対策

面接は採用可否を決める最も重要な選考プロセスです。対面で話してコミュニケーションを取り、人柄や考え方を確認します。短時間で応募者を見極めるためには、あらかじめ、介護・障がい福祉業務にマッチした評価項目や採用基準を決めておくことが重要です。

ミスマッチ多発で人材が定着しない

面接官あるある

- ・ 経歴が優秀だから 採用で大丈夫だろう
- ・ 結局は面接官の好みで決めている

現場職員の悩み

- ・ なぜ雰囲気合わない人を採用するの？
- ・ 教えてもすぐ辞めてしまうので辛い…

原因

- ・ 評価基準があいまい
- ・ 面接時の見極め不足

面接選考シートの利用がおすすめ

面接は多くても2回が一般的。短期間で人物像と業務スキルを把握するのはとても難しいことです。また、面接官によって考え方や捉え方も異なります。評価するポイントを決めておくことで、ブレがなくなり、自社に適した人材を採用することができるようになります。



- ・ 面接スキルのばらつき
- ・ 価値観のちがいが
- ・ 異なる選考ポイント



面接選考シート

評価のものさし
が必要



5つのメリット

評価のものさしを持つことで、選考が円滑に進むようになります。さらに自法人に合った人材が活躍し、定着することで組織全体の活性化など良い効果をもたらします。

採用精度の向上

組織力の向上

① 面接官による評価のばらつきがなくなる

② 見極め不足やミスジャッジの減少

③ 応募者の評価が可視化できる

+

④ 現場と採用部門で求める人材が一致

⑤ 面接の記録を蓄積採用戦略に活用

自法人にマッチした人材が定着し、強い組織に

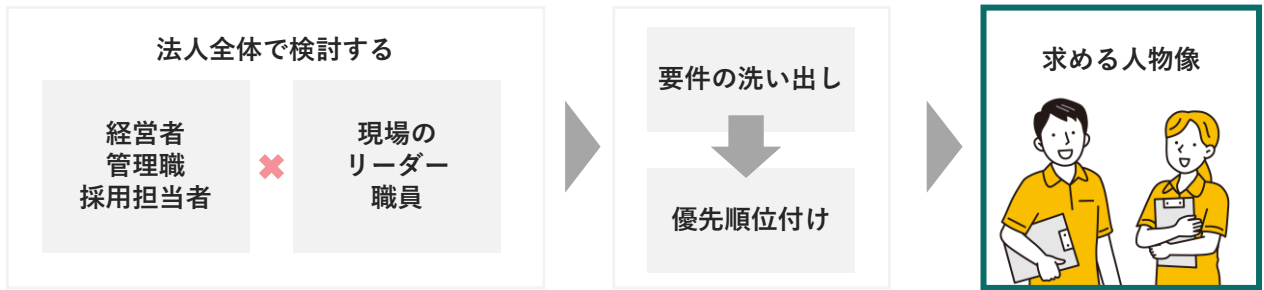
すぐに始められる面接選考シートの作り方

面接選考シートの作成はたったの2ステップ。「求める人物像」の認識を合わせ、どのような視点で評価をするかを決めます。貴社で活躍している人材を思い浮かべるとよいでしょう。



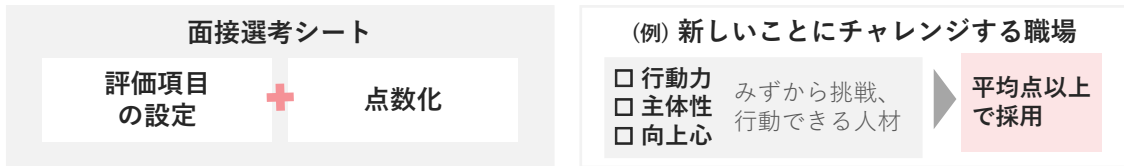
● 求める人物像を明確にする

活躍している、職員や利用者から慕われている人材が求める人物像です。イチから作る必要はありません。採用担当者や面接官だけでなく、現場の職員にもヒアリングをするとミスマッチを減らすことができます。要件が多すぎると面接で判断するのが難しくなるので優先順位をつけるとよいでしょう。



● 評価項目を定め、点数化で可視化

次に判断するための評価項目を決めます。同時に評価のチェックポイントを決めておくと、質問しやすく、的確な判断ができます。また、評価結果は点数化しておくことで客観的な合否判断に役立つでしょう。



面接官全員の認識を合わせられるよう**点数化し**、客観的な合否判定をする

点数化の例
 3段階：良い・ふつう・悪い
 5段階：当てはまる・やや当てはまる・どちらともいえない・やや当てはまらない・当てはまらない

さらに活用

質問を決めておく

評価項目の判断ができる質問を用意。回答をどう掘り下げていくかまでシミュレーションしておくことで人物像に深く迫れるでしょう。

ポジションごとに作成

管理職と現場スタッフなどの役割別、介護職とリハビリ職など職種別に用意しておきましょう。

合否は客観的に判断

採用責任者、面接官が点数を付けた根拠を共有し、認識をすり合わせてから公平に合否判定をします。

お試し

介護・障がい福祉職に必要なスキルや人柄を網羅した面接選考シートです。まず試してみたい法人様は、ぜひご活用ください。印刷してすぐにお使いいただけます。※次のページへどうぞ

面接選考シート

面接日	年 月 日	面接官	
応募者氏名		生年月日(年齢)	年 月 日(才)
前職(介護実務経験)	(年)	希望職種	

(5:良い 4:やや良い 3:どちらでもない 2:やや悪い 1:悪い)

評価項目	チェックポイント	評価	面接官メモ
身だしなみ	TPOをわきまえた服装か、髪型など清潔感があるか	5・4・3・2・1	
表情・視線	目を見て受け答えができているか	5・4・3・2・1	
話し方・声の大きさ	敬語が使えるか、声は聞き取れるか	5・4・3・2・1	
志望動機	志望する理由が明確で納得感があるか	5・4・3・2・1	
	具体的なエピソードを交えて話しているか	5・4・3・2・1	
	深掘りした質問にも矛盾なく対応できるか	5・4・3・2・1	
自己PR	アピールポイントを端的に話せているか	5・4・3・2・1	
	根拠のある説明やエピソードがあるか	5・4・3・2・1	
	強みと弱みの両面を自覚しているか	5・4・3・2・1	
成功体験や実績	数字等を用い、客観的な説明をしているか	5・4・3・2・1	
	成功体験を自法人で活かそうか	5・4・3・2・1	
失敗体験	失敗時の対処や乗り越え方を話しているか	5・4・3・2・1	
	失敗した要因を自己分析できているか	5・4・3・2・1	
介護理念	自法人の理念と合致する、または近いか	5・4・3・2・1	
主体性	物事に進んで取り組む姿勢があるか	5・4・3・2・1	
行動力	自ら考えて行動し、最後までやり遂げる	5・4・3・2・1	
課題発見力	現状を分析し、課題を発見できる	5・4・3・2・1	
コミュニケーション力	相手の気持ちに配慮し、関係が築ける	5・4・3・2・1	
向上心	前向きな捉え方、チャレンジ精神	5・4・3・2・1	
ストレス耐性	ストレスとうまく付き合い、解消できる	5・4・3・2・1	

評価点 (20問×5点) <div style="text-align: center; font-size: large; font-weight: bold;">/100</div>	合 ・ 否
---	-------

面接官/採用担当者 コメント欄	
----------------------------	--